

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 673

事業名	受精卵移植事業		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	農業振興部	農林振興課		款	農林水産業費・6款
電話	0799 - 43 - 5025			項	農業費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務		法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	畜産業費・6目
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職 食 づくり 夢あふれ 働く場を生み出すまちづくり			
	まちづくりの目標	ふやさんか 食づくりの担い手【農漁業】			
	施策目標	食づくりの源である豊穡の大地と海を守り、農業や漁業に携わる市民(若者、女性、元気な高齢者層など)を育てる			
該当する事業について「 」を選択			施策的事业	業務委託	負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 南あわじ市酪農振興会受精卵移植研究会		対象人数(人) 18		
	目的	意 図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 高能力優良乳用牛群の増殖・生乳生産能力の向上を図る。				
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 移植する受精卵の購入価格に対し、助成する。				
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 乳価の低迷等、酪農の現況を向上させるため、高能力優良乳用牛群の増殖・生乳生産能力の向上を図ることを目的に実施している。				
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 (南あわじ市酪農振興会受精卵移植研究会)			
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)					
	<input type="checkbox"/> 旧緑町	<input type="checkbox"/> 旧西淡町	<input type="checkbox"/> 旧三原町	<input type="checkbox"/> 旧南淡町	<input type="checkbox"/> 旧広域事務組合	<input checked="" type="checkbox"/> 新市から

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	受精卵移植個数			指標単位 個
	指標説明 (指標算出方法等)				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	-	20	20	20
	実績値	-	21		
	達成度 (%)	-	105.0	-	-
目標値設定の考え方					
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	出産頭数			指標単位 頭
	指標説明 (指標算出方法等)				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値	-	20	20	20
	実績値	-	20		
	達成度 (%)	-	100.0	-	-
目標値設定の考え方					
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	直接事業費 (千円)	0	1,495	1,500	1,500
	受精卵移植事業補助金		1,495	1,500	1,500
	財源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	0	1,495	1,500	1,500
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
事業量2(事業に要した人数)					
年間経費([A]+[B])	0	1,495	1,500	1,500	
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	0.0	83.1	83.3	83.3	
受益者人数(18)1人当り経費(千円)	0.0	83.1	83.3	83.3	
経費に関する補足説明					

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)	
		%	-	105.0	-	-		
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 18年度から始まった事業であるが、目標としていた20件は達成できた。							4	
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		自己評価 (5点評価)
	成果向上率	%	-	-	-	-		
	(事業実施による目的に対する有効性分析、問題点・課題などを記入。) 高価な受精卵購入には、零細農家には資金面で負担が大きいため本事業は農家の負担軽減という面からも寄与している。							
	4							
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)	
		千円	-	71.2	-	-		
	効率性増減率	%	-	-	-	-		
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 受精卵購入に係る補助金のため、すぐに成果が表れにくいが続いて事業を実施していく必要がある。							
4								
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					自己評価 (5点評価)	
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 負担が大きいため、酪農家の中で多頭飼育農家に限られてくる可能性もあるが、高能力乳用牛の確保のため必要である。							
4								
総合評価	自己評価をふまえた現状分析							
	平成18年度からの事業であり、効果が出るまで数年かかると思うが、継続していく必要がある。							
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>								

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	受精卵の購入の対する補助金であり、効果が出るまで数年かかると考えられるので、継続することが必要である。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)	
	酪農経営農家の大きな負担となる。	